

北海道総合計画の策定に係る企業等意向調査

- この調査は、北海道が行うものです。
- 北海道では、長期的な展望に立って、政策の基本的な方向を示すため、「北海道総合計画」を策定し、この計画に沿って、様々な取組を行っています。
現在の計画の期間は令和7年度（2025年度）までとなっていますが、不安定な国際情勢などを背景に、エネルギーや食料の安定供給に対する懸念が身近なものになるなど、情勢が大きく変化していることを踏まえ、新たな計画を策定することとしました。
- この調査は、企業や団体、NPO法人の皆さまが、北海道の将来についてどのように考えているかをお伺いし、新たな計画の参考とさせていただくことを目的としています。
貴重な時間をいただき、たいへん恐縮ですが、お考えをお聞かせください。
- 貴社（貴団体）をはじめ、主として道内で活動している企業や団体、NPO法人1500社（団体）あまりを任意に抽出いたしました。ご回答いただきました内容などの情報については、総合計画策定の目的以外に用いることはありません。

ご記入にあたって

- 1 回答は、問1～問12につきましては、あてはまる数字（番号）を○で囲んでください。
問13につきましては、計画策定に向け、ご意見・ご要望があれば記載してください。
- 2 質問のすべてにお答えいただけましたら、お手数ですが、ご記入漏れのないことをお確かめのうえ、この調査票を同封の封筒に入れて（切手は不要）、
令和5年8月31日（木）まで にご返送願います。

- 3 回答は、下記のURLまたは、QRコードから回答することもできますので、ご利用ください。

【URL】

<https://www.harp.lg.jp/BTItwURL>

【QRコード】



B T I (大文字のアイ) t (小文字のティー) w U R L

- 4 この調査についてご不明の点がございましたら、恐れ入りますが下記までお問い合わせ願います。

【お問い合わせ先】

こながや なるみ

北海道総合政策部計画局計画推進課（担当：小長谷、鳴海）

札幌市中央区北3条西6丁目

電話(011)231-4111（内線23-138）直通011-204-5630

FAX(011)232-8924 E-mail: keikaku.suishin@pref.hokkaido.lg.jp

総合計画策定に係る企業等意向調査

企 業 等 名	
担 当 者	職 名 氏 名
所 在 地	
電話番号・電子メール	
業 種 ・ 業 態	
従業員・職員規模	1 ~29人 2 30~50人 3 51~100人 4 101~300人 5 301人~
資 本 金 規 模	1 5,000万円以下 2 5,000万円超~1億円以下 3 1億円超~3億円以下 4 3億円超 5 該当なし（団体の方など）

2050年の北海道の姿について

問1 2050年の北海道がどのような社会であってほしいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

1	産業活動が活発で、経済の活力に満ちている
2	日常の買い物や公共交通の便、インターネット環境など、生活環境が整っている
3	高齢者や障がい者を含め、誰もが活躍できている
4	豊かな自然に恵まれている
5	ゆとりのある生活を送ることができている
6	一人ひとりの個性や能力が生かされている
7	教育や文化の水準が高まっている
8	その他（ ）

経済・産業の活性化について

問2 道内の経済・産業の活性化を図るため、今後、道はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次の中から1つ選んでください。

1	空港や港など、国際的な交通ネットワーク拠点や物流拠点の整備
2	食や観光、エネルギーなど、北海道の特性を生かした産業の振興
3	バイオテクノロジー（生物工学）や IT（情報関連）産業、DX（デジタルトランスフォーメーション）など先端産業の振興
4	産学官の連携による研究成果・技術・ノウハウの活用
5	戦略的な企業誘致や投資環境の整備
6	海外との経済交流の振興
7	農林水産業の振興
8	産業の担い手となる人材の育成
9	その他（ ）

人口減少・少子高齢社会への対応について

問3 人口減少・少子高齢化が進行する中、住みよい地域社会を実現していくために、今後、道はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次の中から1つ選んでください。

1	子どもを生みやすく、育てやすい環境づくり
2	十分な教育を受けることができる環境づくり
3	高齢者や女性、障がい者の活躍の場づくり
4	高齢者などの健康づくりと介護対策の充実
5	十分な医療や介護を受けることができる環境づくり
6	地域産業の振興
7	雇用の場づくり
8	買い物しやすい環境づくり
9	利用しやすい公共交通の整備
10	町内会などのコミュニティづくり
11	移住を希望する人たちの受入れ
12	その他 ()

環境にやさしい地域社会について

問4 人と自然が共生し、環境と調和した地域社会を構築していくに当たって、今後、道はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次の中から1つ選んでください。

1	自然環境の保全に対する道民意識の向上
2	環境保全に配慮した企業活動の一層の促進
3	省エネルギーや風力、太陽光、雪氷熱、バイオマスなど新エネルギー資源の利用
4	徒歩、自転車、水素・電気自動車の活用や公共交通機関の利用促進
5	豊かな森林、多様な動植物などの自然の保全・保護
6	二酸化炭素等の排出削減による温暖化防止など、地球的規模の環境問題に対する貢献
7	ごみ（廃棄物）の発生・排出の抑制やリサイクルなどの推進
8	その他 ()

地域の産業や暮らしを支える人材の育成・確保について

問5 地域の産業や暮らしを支える人材の育成・確保を図るため、今後、道はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次の中から1つ選んでください。

1	子どもたちに対する、ふるさとへの愛着を育む教育やキャリア教育の充実
2	若者が地域に定着し、様々な業種の担い手として活躍できる環境の整備
3	若者が世界にチャレンジできる環境の整備
4	家庭、地域、職場など、社会のあらゆる分野での女性の活躍
5	道外・海外から多様な人材を呼び込むための取組の推進
6	デジタル技術を使いこなすスキルを習得できる教育機会の充実
7	その他 ()

デジタル化について

問6 生活のあらゆる場面でデジタル技術（AI、ロボット、遠隔医療など）の活用が進んでいる中、道はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次の中から1つ選んでください。

1	通信網やデータセンターなど、基盤となるインフラの整備促進
2	学校や地域においてデジタルの活用について学ぶことのできる機会の確保・充実
3	高度な知識・技能を有するデジタル人材の育成・確保
4	デジタル技術を活用して地域の課題を解決した具体的事例の紹介・普及
5	その他（ ）

食料の生産・供給のあり方について

問7 気候変動等による世界的な食料生産の不安定化や、世界的な食料需要の拡大に伴う調達競争の激化などを受けて、食料安全保障の強化が課題となっていますが、我が国の食料の生産・供給のあり方について、貴社（貴団体）の考えに最も近いものを次の中から1つ選んでください。

1	食料は、外国産より高くても、できるだけ国内で生産すべき
2	少なくとも、米などの基本的な食料については、国内で生産すべき
3	外国産の方が安い食料については、一定の安全が確保されているのであれば輸入すべき
4	その他（ ）

エネルギー問題について

問8 近年、道内においても激しい雨が降る頻度が増加するなど、気候変動の影響が顕在化しており、その主な要因として地球温暖化が挙げられています。北海道では、2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロをめざす「ゼロカーボン北海道」の取組を進めています。我が国のエネルギー問題を考えるに当たって、貴社（貴団体）がもっとも重要だと思うことを1つ選んでください。

1	安定供給が保障されていること
2	価格が安いこと
3	太陽光や風力、水力など環境にやさしい再生可能なエネルギー源であること
4	その他（ ）

SDGsの推進について

問9 北海道全体でSDGsを推進していくに当たって、行政に期待することを1つ選んでください。

1	SDGsに関する計画やビジョン等の策定、普及
2	セミナーの開催など道民の意識を高めるための取組
3	市町村の支援など地域でのSDGs推進に向けた取組
4	先進的な企業を認証するなど企業の取組促進に向けた取組
5	市町村、企業、団体、道民などの連携を進める取組
6	その他（ ）

問10 北海道内において、特に取り組むべきSDGsの目標は、どの目標と考えますか。次の中からお選びください（3つまで選択可）

1	ゴール1 貧困をなくそう
2	ゴール2 飢餓をゼロに
3	ゴール3 すべての人々に健康と福祉を
4	ゴール4 質の高い教育をみんなに
5	ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう
6	ゴール6 安全な水とトイレを世界中に
7	ゴール7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
8	ゴール8 働きがいも経済成長も
9	ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10	ゴール10 人や国の不平等をなくそう
11	ゴール11 住み続けられるまちづくりを
12	ゴール12 つくる責任つかう責任
13	ゴール13 気候変動に具体的な対策を
14	ゴール14 海の豊かさを守ろう
15	ゴール15 陸の豊かさも守ろう
16	ゴール16 平和と公正を全ての人に
17	ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう



新型コロナウイルス感染症の影響について

問 11 新型コロナウイルス感染症の収束後も貴社（貴団体）で継続していこうと考えている働き方の変化はありますか。次の中から当てはまるものを全て選んでください。

1	在宅勤務
2	自宅以外でのテレワーク（ワーケーションなど）
3	時差出勤
4	オンラインでの会議や商談など
5	その他（具体的に： _____）
6	特にない

問 12 新型コロナウイルス感染症への対応を行う中で、貴社（貴団体）にとってよかったと思える面はありますか。次の中から当てはまるものを全て選んでください。

1	社内（団体内）のデジタル化が進んだ
2	働き方の見直しが進んだ
3	新商品や新サービスの開発に取り組んだ
4	他社（他団体）との連携が進んだ
5	売上げが増加した（団体においては、取組が進展した）
6	業種転換や新規分野参入の契機となった
7	その他（具体的に： _____）

北海道総合計画について

問 13 道政の基本的な指針となる新たな北海道総合計画について、ご意見等がありましたら記入してください。

--

《ご協力をいただき、誠にありがとうございました。》